

留学生の大学進学指導を担当しています

大関 恒夫

日本語科の学生の進学指導を担当しています。毎日、学生が進学に関するさまざまな相談にやってきます。現在、日本語科に在籍している学生は、10カ国以上の国や地域から集まった人たちです。その多くが日本の大学院・大学・短期大学・専門学校への進学を希望しています。経済大国であり最先端の科学技術を持つ日本で、自分が学びたい知識や技術をしっかり身に付け、夢をかなえてほしいと思います。



しかし、日本留学がただ単に知識や技術の習得だけに終わることなく、日本の文化や歴史を理解し、日本で知り合った多くの人たちとの交流を深めるなど、真の日本を肌で感じてほしいと願っています。そして、帰国した後、母国と日本の人的交流を始めとした友好関係向上に貢献してくれることを期待しています。

大学等の受験もこれからの季節が本番というところですが、つい先日、中国出身の留學生が慶應義塾大学大学院への入学が決まるなど、今年度も順調な滑り出しです。

(岩谷学園テクノビジネス専門学校 日本語科)

軽部先生・高倉先生・藤貫先生が学園祭来訪

昨年度の学園祭

昨年度の学園祭には、元教員の軽部先生・高倉先生・藤貫先生が、来訪されました。久々に岩谷学園に来られて、各校舎での展示や模擬店を廻られ、学校や学生の変化に驚かれたようでしたが、教職員・卒業生と旧交を温め、思い出話や現在の情報交換で話が盛り上がり、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。



高倉先生・藤貫先生はリタイア後の生活を積極的にエンジョイされておられます。日々仕事に追われる立場から、うらやましさを感じたのは私だけではなかったと思います。久々にお会いして、また大切なことを教えていただけたように思いました。

なお、軽部先生からはご活躍の近況をご寄稿いただきました。
(左から、藤貫先生、軽部先生、高倉先生と梅原先生)

学生が商店街HP更新

今後の運営のための講座も実施

情報ビジネス科の学生Mさんが、今回インターンシップで取り組んだのは、『横須賀市上町商盛会商店街振興組合』さんの公式サイトを更新作業です。

これまでのように、お店の情報を登録したり、マップとリンクさせたりといった作業のほか、今回は、商店街の皆さんが、今後、自力で更新作業ができるよう、画像編集方法の講座も学生が実施しました。

この講座に使用したマニュアルも学生の手作りです。

皆さんぜひ、一度、ご覧になってみてください。

学生が作ったサイトは<http://www.e-jan-uwamachi.com/>

新しいビジネス教育プログラムを開発中

内山 寿枝

皆様、お元気ですか？

この原稿の依頼を頂いてから、「何を書こうかな〜」と、卒業生の皆様に話しかけるように考えながら数日を過ごしました。その間、久しぶりに卒業アルバムを開き、沢山の卒業生の皆様のお顔を懐かしく拝見し、皆さんと交わした言葉・共有した体験を昨日のここのように思い出しました。振り返ると時間の流れは、あっという間で、私が岩谷学園にお世話になってから、20年ちかい歳月が流れました。その間、結婚・出産・育児などで非常勤講師になったりしながらも、岩谷学園とのご縁は切れずに今に至っております。



学園では、多くの方々と素敵な出会いを沢山頂戴いたしました。皆様との出会いが、今の私をつくっているとんでも過言ではない気がします。改めて、皆様と出会えたことに本当に感謝しています。(たまにはお顔を見せてくださいね。)

私は昨年度までは、新設校のアーティスティックBにおりましたが、今春から、学園本部で新しいビジネス教育プログラム開発などの仕事に携わっております。

プライベートでも、娘は小学校5年生になり、夫は(私と同級生です)で、しっかり、おじさんになってきました(笑)。

学園祭などの折は、是非、学校に遊びにいらして下さい。教職員一同、皆様のお元気なお顔を拝見できるのを楽しみにしております。
(岩谷学園 本部)

実兄が会社創業、一緒に夢に向かっていきます

軽部 隆

現在私は(株)レミという会社に在職していますが、実を言いますと 実兄が創業した会社です。この会社が、事務部門の人材を求めているので、私も何かお手伝いできないかと思って入社しました。

まあ、なんとなく、世界最先端の技術を持った会社らしいということは分かっていたのですが、入ってみて技術開発力の凄さに驚きました。実兄はこれまで企業でレーザ技術を研究してきた工学博士。これまで各企業で同じように研究してきた最先端の技術者達と、日本の世界最先端技術を実用化し、若い人に伝えて行くべく、創業したのがこの会社です。



軽部則夫社長と軽部先生

まだ無名の会社ですが、会社の内容が知られるにつれて、社会的評価も上がり、優秀な若い技術者も入社してきました。私も還暦を過ぎたこの歳で社会奉仕が出来ること感謝の日々です。

岩谷学園は私が長年教職として奉職した学校であり、いつも気にかけております。卒業生が社会の多分野で活躍されていますが、学園とともども、いっそうのご発展を祈念いたします。

シーブリーズは今号から川崎簿記の卒業生へも

シーブリーズは、岩谷学園テクノビジネス専門学校(旧称:横浜簿記専門学校・横浜簿記テクノビジネス専門学校)とアーティスティックB専門学校の卒業生にお届けしています。今号からは、川崎簿記専門学校の卒業生にも、お届けします。川崎簿記専門学校は、現在は岩谷学園高等専修学校になり、横浜に移転していますが、横浜簿記の母体となった学校です。